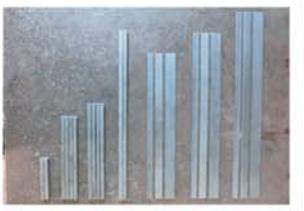


① 溶接で組立てる。

フラワースタンドの脚を組立てる。



10mm角棒と3mm厚フラットバー(幅13/19/25mm)をカットして材料をそろえる

今回のフラワースタンドの構造では脚の部分で全体の形状が決まる。何段にするかは自由である。まずは、シンプルな二段にチャレンジしよう。

ここで注意することは、材料の組み方で、切る寸法を厚さ(太さ)分をマイナスさせるということだ。また、溶接の手順で重要なことは、作業台の上の一つのパーツとなる脚部分の材料を全て並べ、全ての箇所を仮留め(点付け)



溶接するのと。溶接作業において、仮留めは重要で、精度の良し悪しはこれで決まると言っても良い。直角に繋げるときに、少し角度がずれても、仮留めであれば、修正が容易に行える。全て仮留めしたら、あとは溶接に集中し、本溶接すれば良い。



本溶接を行うポイントはあせらずゆっくりと材料を溶かし付ける。



角棒で脚部分を作る

差し金で直角に固定した後に、最初に仮留め(点付け)を行う。

Good Point

複数の材料を組み合わせる、パーツを作るときは、まずは全箇所を仮留め(点付け)する。いきなり本溶接してしまうと、熱の歪みで角度が狂いやすく、他の部分に隙間が出来たり、精度が悪くなるためだ。



続いて本溶接。



まず仮溶接(点付け)。

③ 溶接部分をブラシで磨く

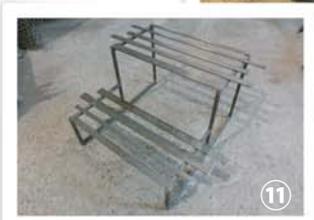
丁寧な磨きが仕上げを美しくする。



ハンマーと
ブラシで
スラグを除去



チップでスラグを取り(写真⑨)、続いて磨く(写真⑩)。丁寧に行うことで塗装の仕上がりも美しくなる。



本溶接が終わったら、溶接箇所にはスラグやスパッタといった溶接を行っているので、専用のハンマー&ブラシで掃除をしよう。カスが付いたままだと、表面がザラザラしていて素手で触ると痛く、

怪我をしてしまうこともあるので注意が必要だ。また、このスラグやスパッタを残したままにしておくと、最終工程での塗装が上手く行えず、美しく仕上がらない。今までの努力が台無しになるので注意が必要だ。

④ 塗装で仕上げ

仕上げの最終工程。

塗装は慎重に行おう

塗装は薄く重ね塗りしないと表面に凹凸や斑点模様ができてしまうので慎重かつ素早く行うのがコツだ。



② 脚と棚板の取付

フラースタンドの脚と棚板を組立てる。

フラットバー
350mmで
足部分を繋ぐ



手で押えながら直角を保ち溶接することは難しいが、マグネット(写真⑤)を使用しながら行えば両手を使い簡単に溶接ができるのだ。



フラットバー350mmで両側の脚を溶接する。この場合もマグネットで正しい直角を保つことが大切だ。



天板となるフラットバーを前工程で作った二つの脚に溶接していく。今回は少し遊びを出すために中の違う三種類のフラットバーを使っている。長さも少し変えている。一番短くカットしたフ

ラットバー3本で、まずは脚を繋ぎ、好きな位置に配置していく。全ての配置が終わるまでは全て仮留めで良い。角度のズレや置いたときの力がたつきをチェックしたら、本溶接を行おう。

棚板を好みの位置にレイアウト。



残りのフラットバーを好きな位置(今回は基本的な等間隔で配置)にレイアウトし、やりやすい箇所仮溶接する。



仮溶接でポイントを決めてから...

裏側から本溶接を行う。ここでもあせらずゆっくりと確実に溶接しよう。